



さらにその先

校長 安達 修久

春が近づくと、温かさと寒さが何日かごとで交互に訪れる「三寒四温」がやってきます。今年はその時期が早かったようで、各地からの花の便りも例年より早く聞こえてきました。大雪が降ったり5月並みに気温が上がったりしていましたが、日差しが強くなり草木が芽吹くなどして、季節は春に移ってきています。

令和5年度もいよいよ最後の月、3月となります。6年生は卒業そして中学校に向けて、1年生から5年生は次の学年に向けて、学級・学年のまとめに励んでいます。

昨年度設置した学校運営協議会の、今年度最後の会を2月に行いました。町内会長、PTA役員、学校地域コーディネーター、キッズクラブチーフ、地域の方などからなる協議会委員の皆様にも、まず各教室の授業参観をしていただきました。タブレットを使ったり、英語活動を行っていたりする子どもたちの姿をご覧になり、委員の方々は昨今の教育活動を新鮮に感じていらしたようです。

その後の協議会では、教職員による学校評価、児童・保護者アンケートの結果等、今年度の振り返りを委員の皆様にお伝えして、意見をお聞きました。今年度、1棟トイレや校庭が無事改修されたこともお伝えしました。中学校ブロックで「コミュニケーション能力の育成」に力を入れていることから、挨拶や言葉のやり取り、「言葉のキャッチボール」の大切さについてご意見がありました。校内では「しっかりあいさつ」がだいぶできているように見受けられますが、地域では小学生の挨拶はまだまだの様子。中学生になると挨拶ができるようになっていく、ということでした。また、言葉を発して「投げる」ことができる子ども、相手の言葉を受けとめる「キャッチ」については、もう一歩の様子が見られるという話もありました。他の場面では、子どもたちの言葉づかいが乱暴になってしまい、そばで見ていて心配になってしまうこともあるそうです。丁寧な言葉づかいや相手の気持ちを考えることについて、引き続き学校でも指導していくべき点があり、ご家庭のご協力もいただかなければならないと思われました。

ふざけて人にかかわる行動が、くり返されたり度を越えたりしていじめにつながってしまい、学校へ行くのが嫌になってしまう事例についての話がありました。「いじめはしない、させない、ゆるさない」の実現のために、学校全体で人と言葉を大切にしていけることを改めて重視したいと思いました。

各町内会を通して、児童下校時の見守りや、見守りボランティア「釜小 学校支援隊」の募集等についてもご協力をお願いしました。そして来年度に向けて、登校を8時15分から20分の間とすることなど、変更を予定している諸点をお伝えしました。

釜利谷中学校の校長先生から朝読書の取り組みをお聞きして、校内の読書活動の活性化について、さらに教員の勤務時間など働き方改革についても、話題にして協議しました。最後には今後の学校へのご支援をお願いして、閉会となりました。

今年度の150周年記念事業を行うにあたり、学校運営協議会をはじめ地域・保護者の皆様には、多大なご協力をいただきました。その中でこれまでの150年間、本校が様々な形で皆様に支えられ、永い間続いてきたことがよくわかりました。そして次の151年目、さらにその先に向けても、本校は「たのしい わたしの学校」をめざして教育活動を続けていきます。そこに皆様の支えが不可欠であるのは言うまでもありません。ぜひ、今後ともよろしく願いいたします。